第39回関西若手実験心理学研究会——10周年記念回——



の10年間をデータで振り返る



武藤 拓之 (Hiroyuki Muto) 大阪大学大学院人間科学研究科·日本学術振興会

この発表の目的

●関西若手実験心理学研究会(通称「関西若手」)は, 自由な議論と人脈作りを目的として2008年に発足しました。

- ◆ 今年でちょうど10周年ということで, これまでの活動をざっくり振り返ろうと思います。
- 初めて参加される方や, 今後新しく参加される方のために, この資料はアーカイブとして残しておこうと思います。

研究会のWebサイト



https://sites.google.com/site/kansaiwakate2008/

関西若手実験心理学研究会について

研究会の基本的な流れ

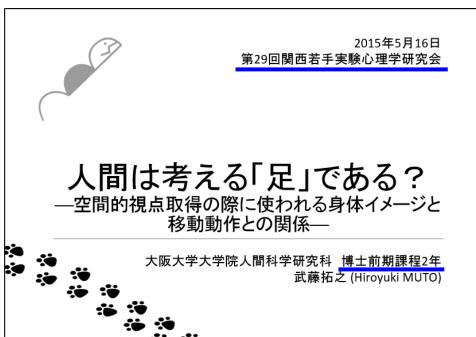
- 研究会のメンバー1~3人による話題提供 + 招待講演 (招待講演は無い場合もある)
- 持ち時間を一人45分と長めに取っていることが特徴。
- 発表中の質問も歓迎の方針。

基本的事項

- メンバーは関西圏の大学院生とポスドクが中心。
- 開催場所は「京都→兵庫→大阪」の順にループ。
- 最近の参加者数は毎回およそ30名程度。
- 最近は約3—4ヶ月ごとに開催。
- ナンバリング回とは別に, 合宿や英語特訓会のような特別回が行われることもある(後述)。

関西若手で口頭発表デビューした武藤の話

↓初めての口頭発表 (それまでは日心で卒論の内容をポスター発表したのみ)





←準備のために 読んだ本

↓2年後に論文になりました。

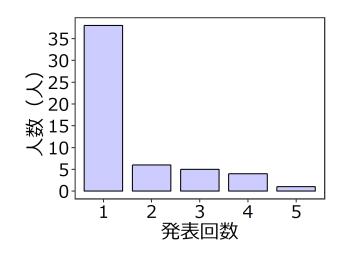
Journal of Experimental Psychology: Human Perception and Performance © 2017 American Psychological Association 0096-1523/17/\$12.00 http://dx.doi.org/10.1037/xhp0000464

Spatial Perspective Taking Mediated by Whole-Body Motor Simulation

Hiroyuki Muto, Soyogu Matsushita, and Kazunori Morikawa

関西若手の活動記録

- 現在のメーリングリスト登録者数:約100名
- これまでの話題提供の件数:**86件**(54名)



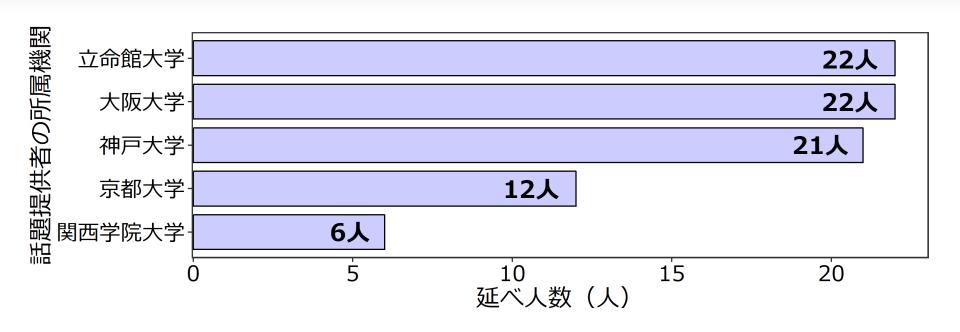
← 複数回発表した人は意外と少ない。

● これまでの招待講演の件数: **31件** (29名)

注:

登録されているメールアドレスの件数は113だが実際の人数はそれよりも少ないと思われる。 発表件数は第1回~第38回研究会までのナンバリング回のみの記録に基づく。

これまでの話題提供者の所属機関



その他の所属機関 (それぞれ延べ2人以下, 順不同)

東京大学,千葉大学,広島大学,中京大学,甲南女子大学,島根大学,京都女子大学,西九州大学,情報通信研究機構(NICT),JST-CREST,メリーランド大学,ボストン大学,オレゴン大学

※第1回~第38回までの記録。所属機関が複数ある人は所属機関ごとに別々にカウントした。

歴代の招待講演リスト (1/2)

※敬称略

北岡明佳「錯視いろいろ」

和田有史「食の実験心理学-食総研の試み-」

吉川佐紀子「表情変化と視線を手がかりにみる認知・感情過程」

辻本悟史「高次認知機能の神経機構とその発達:単一ニューロンから行動へ」

水科晴樹「眼球運動時の視知覚研究:方向と奥行きの知覚」

服部雅史「推論と判断の等確率性仮説:非対称な関係についての対称性推論のバイアス」

松本絵理子「視覚性注意の神経基盤:神経心理学と脳イメージングによるアプローチ」

妹尾武治「ベクション研究における新しいアプローチ」

齋木潤「反応時間分布解析のススメ」

野口泰基「視覚刺激の特徴統合:注意を要しないfeature bindingの経路について」

須佐見憲史「奥行き運動知覚の機能と機構 - 大きさ、両眼網膜像差の検出・統合処理モデルとバーゼンス制御」

御領謙・木村英司「flash rivalryの諸相 – 両眼系交互作用の探求」

小川洋和「潜在学習に基づく2つの注意制御メカニズム」

四本裕子「実験心理学における若手研究者の研究テーマの変遷」

石松一真「日常行動における遂行機能の役割:頭部外傷患者や高齢者を対象とした研究から考える」

歴代の招待講演リスト (2/2)

※敬称略

野村理朗「セロトニンからみる新しい心理学のかたち」

石井敬子「文化神経科学:最近の知見とそのインプリケーション

苧阪満里子「ワーキングメモリと脳内機構」

熊田孝恒「視覚選択および行為選択におけるトップダウン・コントロール」

山本真也「チンパンジーとボノボ~進化の隣人の比較認知科学」

番浩志「ヒト背側視覚経路における階層的な奥行き視情報の処理: f MRIおよび行動実験によるアプローチ」

小川洋和「視覚的注意の無意識的捕捉について」

高橋英之「電気企鵝はかみさまの夢をみるのか? -リズムから牛み出されるエージェント幻想-1

月浦崇「社会的文脈の中で影響を受けるとト記憶の脳内機構」

佐藤暢哉「空間認知と頭頂葉内側部」

入戸野宏「実験心理学はお金になるか? 一心理学者のキャリアを考える一」

小村豊「自分を知ること、他人を知ること」

野口泰基「運動中の時間の流れの感覚について」

永井聖剛「身体と認知のインタラクション」

阿部修士「正直さの認知神経科学」

片山順一「研究テーマの決め方(決まり方)とオッドボールパラダイムすごい!!って話」

歴代の招待講演リスト

公司、不明

野村理朗・ローニンからみる新しい心理学のかたち」

石井敬子 文化神経科学:最近の知見とそのインプリケーション

苧阪満里子「ワーキングメモリと脳内機構」

熊田学恒・視覚選択および行為選択におけるトップダウン・コントロール」

出本真也「チンパンジーとボノボ〜進化の隣人の比較認知科学」

番浩志「ヒト背側視覚経路における階層的な奥<u>行き視情報の</u>処理: f MRIおよび行動実験によるアプローチ」

小川洋和「視覚的注意の無意識的<mark>捕捉につい</mark>」

高橋英之「電気企鵝はかみさまの夢をみるのか スムから生み出されるエージェント幻想・

月浦崇「社会的文脈の中で影響を受けるヒト記憶の脳内機構」

佐藤豊・三日認知と頭頂葉内側部」

大戸野法 実験心理学はお金になるか? 一心理学者のキャリアを考える一」

小村豊「自分を知ること、他人を知ること」

野口泰基「運動中の時間の流れの感覚について」

永井星町は単体と認知のイクラクション

国部は、工作さの認知神経科学

ナンバリング回以外の特別回・企画

特別回

- 2013年度合宿研究会 (2013/08/30-31)
- 2014年度レビュー合宿 (2014/02/26-27)
- 第1回大関西若手実験心理学研究会 (2015/11/07)
- 夏の英語特訓会 (2016/07/16)

研究会と一緒に行った企画

- データブリッツ (第31回, 第33回)
- 論文書籍報告会 (第34回)
- 留学するメンバーの壮行会 (第35回)
- LTセッション (第38回) ※LTはライトニングトークとランチタイムのダブルミーニング

姉妹研究会



脳科学若手の会

Society for Young researchers on Neuroscience

个関西若手とほぼ同時期に発足。全国規模で活動。

東海若手実,験心理学研究会

↑しばらく休止中でしたが, 去年から活動を再開しています。

歴代の世話人

初代世話人 : 石橋和也 (神戸大学)

二代目世話人: 嘉幡貴至(神戸大学)

三代目世話人: 樋口洋子 (京都大学)

四代目世話人: 藤井達史 (大阪大学)

五代目世話人: 武藤拓之 (大阪大学)

六代目世話人: 白井理沙子 (関西学院大学)

10年前と今日のプログラム

第1回研究会 (2008年7月5日, 立命館大学 衣笠キャンパス)

- 石橋和也「事前確率を用いた探索打ち切り時間の最適化」
- 本郷由希「Separation between Sound and Light Enhances Audio-visual Prior Entry Effect」
- 蘭悠久「盲点における曲線補完の異方性」
- 嘉幡貴至「内因的注意が前景と背景の変化検出に及ぼす影響」
- ・〈招待講演〉北岡明佳教授「錯視いろいろ」



サンキュー

第39回研究会 (2018年7月7日, 立命館大学 大阪いばらきキャンパス)

- ・ 武藤拓之「関西若手実験心理学研究会の10年間をデータで振り返る」五代目世話人
- 白井理沙子「嫌悪刺激に対する知覚・認知処理」

石橋和也「人間中心設計に基づいた嗜好品の研究開発」

・ 〈招待講演〉 北岡明佳教授「錯視いろいろ 2」

六代目世話人 初代世話人

※会場は雨の影響で大阪大学吹田キャンパスに変更になりました。

まとめ



- 関西若手はいいぞ
- これからも続くことを願っています。 (次の世話人の白井さんよろしく)